

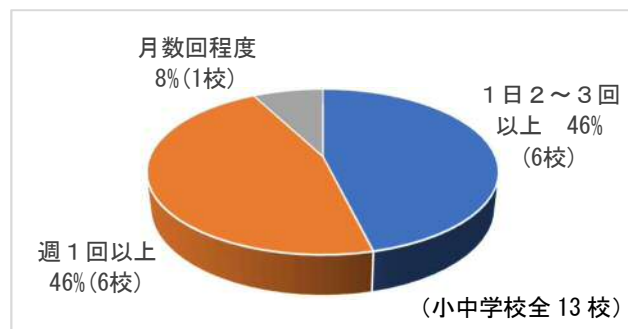
G I G Aスクール構想による 児童生徒用タブレットパソコンの活用状況について

1. タブレットパソコン活用事例

英語	発音確認（スピーキング動画の撮影、視聴）
理科	植物の観察（写真撮影、観察日記の作成）
社会	デジタル教科書・授業テーマの提示、資料動画の視聴（指導者用画面の共有）、課題解決のための検索（Google での個別調べ学習）、全児童生徒の意見確認（個別回答機能による全ての情報が保存可能）
音楽	音あてゲーム
総合的な学習	修学旅行・宿泊学習の計画作成に係る事前調査やまとめ、報告（プレゼン資料作成、発表、掲示物の作成）
その他	チャレンジテスト実施、児童会・生徒会アンケートの実施・集計

2. タブレットパソコン活用回数（令和3年12月現在）

- 令和3年度、恵庭市の目標は「整備済の学年（小学校5・6年生、中学校1～3年生）は1日1～2回以上」としている。
- 各学校において指導事項を定め、学年・学級で目的や取扱い等についての指導を行いながら、活用を進めている。



3. タブレットパソコン持ち帰りの状況（令和3年12月現在）

- 準備が整った学校から、タブレットパソコンを家庭に持ち帰って活用する取組を実施。令和3年度は、「持ち帰りモデル事業実施校2校（松恵小学校・恵み野中学校）の取組」と「各学校で特別に必要がある場合の持ち帰り」が主となっている。

＜実施＞ 8校（小学校4校、中学校4校）

＜内容＞ 新型コロナウイルス感染症による出席停止や不登校の児童生徒への授業配信、学習課題の送付、保護者への連絡、接続テスト 他

4. タブレットパソコン活用研修の状況

＜実施＞ 13校（全小中学校）

＜内容＞ タブレットパソコン基本操作、運用ルールの確認、児童生徒オリエンテーションの方法、授業での活用事例 他

